

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム やすらぎの里

作成日: 平成 21 年 11 月 6 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容
1	(6)	イベントを機に家族会の設立。	これまでも多回数に渡り、ご家族に打診しておりますが、反応厳しく快い意見や前向きな意見等、受けた事はありません。	イベント・面会時・訪問時または運営推進会議時において随時に打診を行ってまいります。
2	(15)	入居者と一緒に食事。	目標と反していますが、職員の昼食時間は昼休みとしており、食事中に隣から介助しなければならない状況は職員に与える影響を考えると如何なものかと考えています。	職員会議に回り検討します。
3	(18)	外出の機会の増量。	行なっていないわけではありませんが、ボランティア等への協力を要請し取り行う事と事業所としての外出を増やして参ります。	オンシーズンには少なくとも月に2回の外出・ドライブ等を行う。
4	(20)	居室の環境の再設定。馴染みのもの・職員の工夫による住まい化。	特徴を持った居室作りに着手し自分の部屋である事の認識や居心地の良い環境作りを指標に取り組みます。	担当者会議・職員会議・ご家族の面会時等、ご利用者に拘わる話ができる時は意識して相談し実行する。
5				

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

取り組む

目標達成 に要する 期間
エンドレス
12ヶ月
6ヶ月
12ヶ月
ヶ月